



# 特集

## 2012年冬のシンポジウム

### 「欧州ソブリン危機の現状と今後の展望」

---

本特集は2012年12月22日に京都大学にて開催された財政学研究会冬シンポジウムの記録である。

このシンポジウムでは、そもそもは米国の住宅市場におけるバブルの崩壊に起因する金融危機が欧州に飛び火し、国債の信用不安、ひいては通貨ユーロの今後を危ぶむ声も高まる中、この財政と金融の双方に関わる喫緊の課題がテーマとして取り上げられた。まず、欧州経済・金融研究の第一人者である中央大学の田中素香先生と西南学院大学の尾上修悟先生より、各々のお立場から基調講演を頂いた。続いて、慶応義塾大学の井手英策先生と京都大学の三宅裕樹氏からのコメントを受けて、フロアを交えた活発な討論があった。

『財政と公共政策』編集委員会

---